

水の安全保障  
戦略機構

# 国際競争力強化へ検討

## 技術普及委員会を開催

水の安全保障戦略機構の会合(写真)が23日、東京都文京区の中央大学理工学部後楽園キャンパスで開催された。第1回となる技術普及委員会では、現状の課題の整理と分析について意見交換し、今後の対応策として、海外展開力と国内の技術普及体制の強化を検討していくことが決まった。

今後の対応策の具体案一補うため、新技術の実績としての、①実績不足を構築を支援する協力体制の確立②多角的・多目的な用途を評価する推奨・発注体制の確立③複数の管理者・施設・機材を共同利用する体制構築④競争力を促進する柔軟な契約体制の確立一が挙げ



られた。それに対し、執行審議会共同議長の丹保憲仁・北海道大学・放送大学名誉教授は「さらに付け加えるのは人の問題。国際競争力をつけるためには、技術だけでなく、社会貢献を含め人として何をしようとしているかを分かりやすい形で見せることや、人との繋がりが必要」と述べたほか、グローバルウォータ・ジャパンの吉村和就代表が国連で日本人の消

り上げるテーマごとに毎回編成される。

今回の委員会は設立発起人である森喜朗元首相をはじめとした国会議員や丹保教授など執行審議会委員に加え、中村良明経済産業省環境指導室長ら技術普及委員6名と、尾澤卓忠国土交通省河川部長ほか分野連携委員4名が出席した。

また、今月からチーム・水日本に新たに加わった「災害時における中小規模『水』供給チーム」(代表・日本原料)と「アジア太平洋水道技術情報ステーション」(事務局・水道技術研究センター)の紹介も行われた。

極性を揶揄するエピソードを紹介。国際展開に向けて、日本人の国外へ向けた意識の変化や、縦割り行政を超えた連携の重要性を強く訴えた。

この日は、技術普及委員会のほか、分野連携委員会も開かれ、それぞれの委員長選出が行われた。技術普及委員長には、吉村代表、分野連携委員長に山田正中央大学教授が決まった。なお、委員長以外の委員は、取